

エビデンスの集い（ポスターセッション）

エビデンスワーキンググループでは「エビデンスの集い」として、第69回大会（広島大会）から実証研究について公募により、ポスター発表を行ってきました。本大会でも2026年3月2日に抄録作成要項をアナウンスし、4月末日の応募締め切り後、5月末日まで応募を延長しました。応募があった6つの抄録を検討した結果、以下のように発表していただくことになりました。発表時間になりましたら、会場にお集まりください。なお、ポスターの閲覧時間は、同日の9：00～16：00です。（大会最終日は第1会場前でポスターを掲示します）

司 会：鳥越 淳一（開智国際大学）

【発表1】造血幹細胞移植病棟における心理師の継続的関与の機能—ソーシャルサポートの変化に着目した検討—

○岸辰一¹⁾、伊藤萌水¹⁾、野村美夢²⁾、松井風佳²⁾、松下和²⁾、原千紗都²⁾、岩崎良宥²⁾、木村宏之²⁾、池田匡志³⁾

¹⁾名古屋大学医学部附属病院 臨床心理室、²⁾名古屋大学医学部附属病院 精神科、

³⁾名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻脳神経病態制御学

【発表2】ワークディスカッションとは何か—ファシリテータの役割と体験のプロセス—

○橋本貴裕¹⁾

¹⁾帝京大学

【発表3】自殺リスクのある患者を対象とした精神分析的心理療法における治療者の内的体験の検討

○二宮佳那¹⁾

¹⁾上智大学総合人間科学研究科心理学専攻

【発表4】非行犯罪面接（DCI）の開発に関する研究

○工藤晋平^{1,2)}

¹⁾名古屋大学、²⁾心理療法室ともしび

【発表5】「生きづらさ尺度」の開発③：生きづらさ尺度の臨床活用可能性

○久保太聖¹⁾、舩田亮太^{1,2,3)}、小田可奈子³⁾、松島敏夫³⁾、松尾敬太郎³⁾、久良木聡太³⁾、加藤隆弘¹⁾

¹⁾北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、²⁾嵯山女学園大学人間関係学部心理学科、

³⁾九州大学大学院医学研究院精神病態医学

【発表6】背面椅子式設定における被面接者の情緒的体験—生理指標の測定および質問紙による検討—

○尹成秀^{1,2)}、実吉綾子¹⁾、西村佐彩子³⁾

¹⁾帝京大学、²⁾南青山心理相談室、³⁾京都教育大学